

第1回 福岡空港技術検討委員会

構想・施設計画段階及び技術検討委員会の進め方

平成21年12月22日

1. 構想・施設計画段階の目的と本委員会の役割

構想・施設計画段階の目的

福岡空港の構想・施設計画段階では、総合的な調査における検討を踏まえ、現空港における滑走路増設案のうち、西側増設案(滑走路間隔210m)を基本として、滑走路を始めとする各施設の配置等の計画案を定める。

本委員会の役割

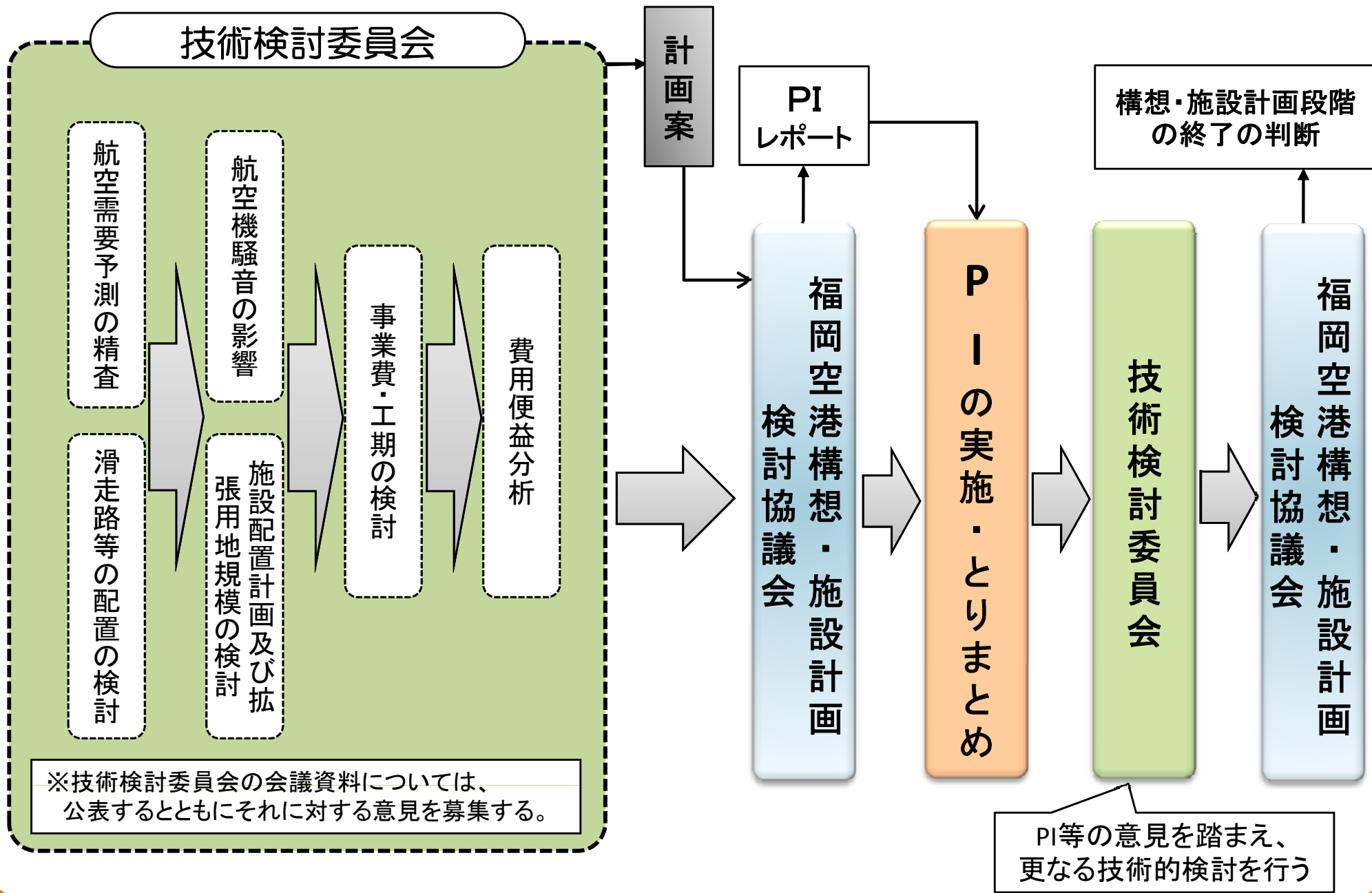
構想・施設計画段階における技術的・専門的な以下の項目について、指導・助言等を行う。

主な技術的・専門的な項目

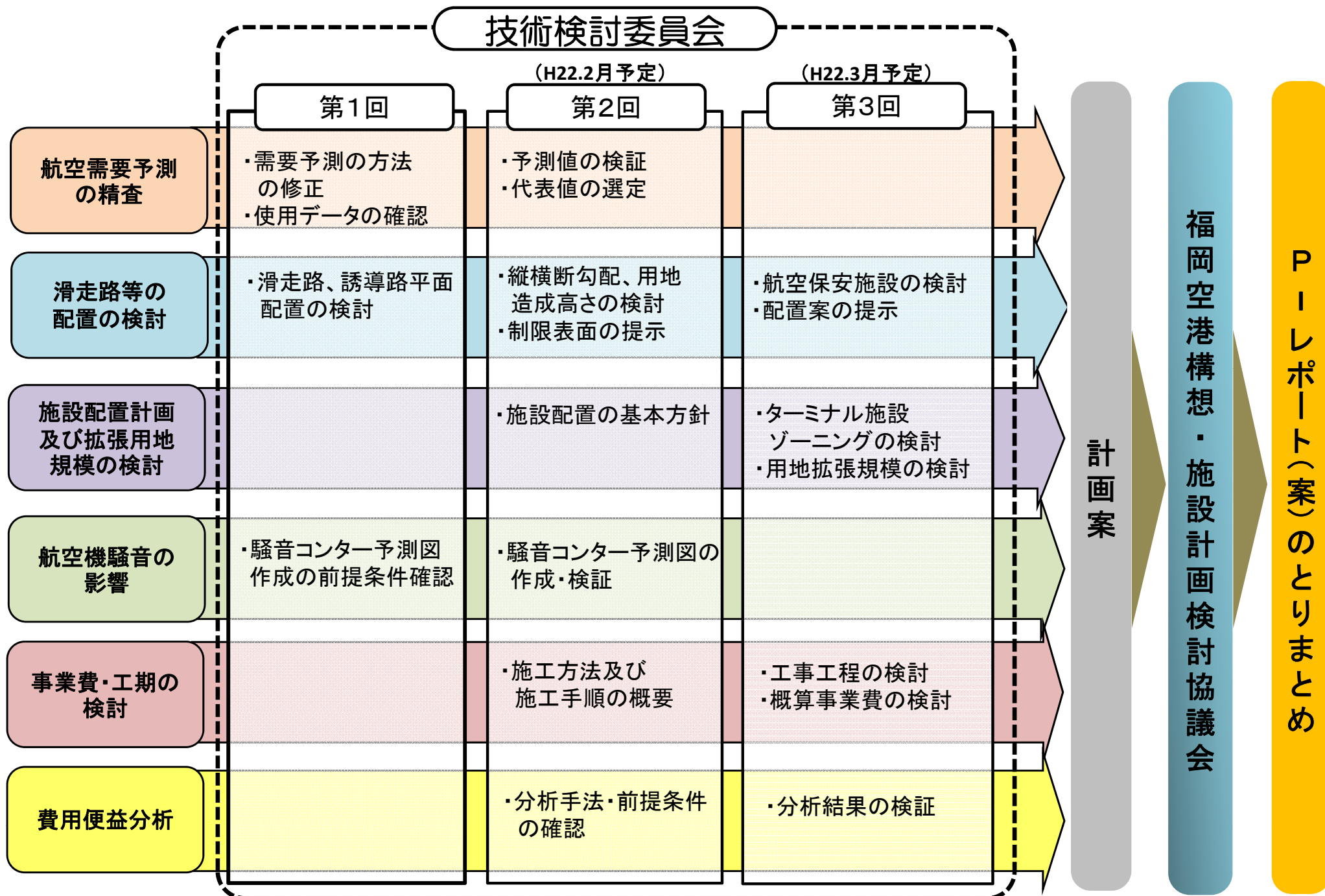
- **航空需要予測の精査**
予測モデルの修正、使用データの確認、予測値の検証、代表値の選定
- **滑走路等の配置の検討**
滑走路、誘導路平面配置の検討、縦横断勾配、用地造成高さの検討、航空保安施設の検討
- **施設配置計画及び拡張用地規模の検討**
施設配置の基本方針、ターミナル施設ゾーニングの検討、用地拡張規模の検討
- **航空機騒音の影響**
騒音コンター予測図作成の前提条件確認、騒音コンター予測図の作成・検証
- **事業費・工期の検討**
施工方法及び施工手順の概要検討、工事工程の検討、概略事業費の検討
- **費用便益分析**
分析手法・前提条件の確認、分析結果の検証

2. 構想・施設計画段階の検討の進め方

構想・施設計画段階



3. 技術検討の進め方(案)(PI実施前)



4. 技術検討の進め方(案)(PI後)

◆第4回技術検討委員会

(1)PIの実施結果報告

- PIの意見を踏まえ、更なる技術的検討を行う

(2)計画案の修正(必要に応じて)

- 上記技術的検討を踏まえ、必要に応じて計画案を修正

注:PI実施中において、PI意見等を踏まえ技術的な対応が必要な場合は、技術検討委員会を開催する。